

福島第一原子力発電所の状況

2015年10月5日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (10/5 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.6 m ³ /h	26.4 °C	0.5 kPa g	A系： 0.02 vol%
		炉心スプレイ系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.8 m ³ /h	32.5 °C	3.92 kPa g	A系： 0.02 vol%
		炉心スプレイ系：約2.4 m ³ /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m ³ /h	30.8 °C	0.25 kPa g	A系： 0.05 vol%
		炉心スプレイ系：約2.4 m ³ /h			B系： 0.06 vol%

<2. 使用済燃料プール(SFP)の状況> (10/5 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	24.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	24.0 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	19.5 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	21.0 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルヘビドランジンの注入を適宜実施。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
1号機	タービン建屋	→	1号機廃棄物処理建屋	10/4 5:51 ~12:11 移送実施
2号機	タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	9/25 17:03 ~ 移送実施中
3号機	タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	10/3 10:23 ~10/5 10:03 移送実施
			集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	10/5 9:58 ~ 移送実施中

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (10/5 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	運転中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<5. その他>

- 2014/6/2~ 陸側遮水壁工事を開始。
2015/4/30 12:00~ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1~4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- 2015/5/27~ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- 2015/9/10 海側遮水壁について、鋼管矢板の打設作業を再開。9/22 に打設作業が完了、引き続き、鋼管矢板の継手処理、海側遮水壁内側の埋立を実施していく。

- ・2015/9/30 7:48 H1東タンクエリアにおいて、当該タンクエリア内堰のボルト部から1分間に1滴程度の水が滴下していることをタンクパトロール中の協力企業作業員が発見したとの連絡あり。同日 8:46 に現場状況を確認したところ、当該タンクエリアの鋼製の内堰のボルト部4箇所において、幅 10～30cm 程度のにじみ痕があること、および水は鋼製の内堰に沿って設置されているコンクリート堰の上部にとどまっていた、コンクリート堰側面および床面には至っていないことを確認。また、当該タンクエリアの外堰の排水弁については「閉」状態であることから、環境への影響はないものと考えている。止水処置を行うため、にじみのあったボルト部の拭き取りを行ったところ、水の滴下はなくにじみ程度であることを確認。にじみを確認したボルト部4箇所については、9:35 に止水セメント等による止水処置が完了。水は拭き取りにより回収済み。内堰下部のコンクリート堰の上部を濡らしている程度のにじみであり、コンクリート堰側面ならびに床面へは至っていないこと、また、すでに拭き取り回収するとともに止水を完了していることから、環境への影響はないと考えている。
- なお、にじみが確認された箇所の水については、にじみ量が非常に少なく、直接水を採取することができなかったことから、当該タンクエリア内堰内の水について分析を実施。

<H1東タンクエリア内堰内水>

- ・セシウム 134:検出限界値未満(検出限界値:1.1Bq/L)
- ・セシウム 137:1.2Bq/L
- ・トリチウム:220Bq/L
- ・ストロンチウム 90:560Bq/L

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
- 5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。
- 7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 7:40 頃に屋根パネル6枚目(北1)を取り外し、8:12 に当該屋根パネルの仮置きを実施。これにより、すべての屋根パネルが取り外れた状態となった。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度などに有意な変動はない。

【サブドレン他水処理施設の状況】

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
- 9/17～ サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から 24 時間連続運転に切り替え実施。
- 10/2 サブドレン他水処理施設について、一時貯水タンクBの当社および第三者機関による分析結果[採取日 9/21]については同等の値であり、運用目標値を満足していたことから、10/3 10:00 より海洋への排水を開始。その後、13:40 海洋への排水を停止。排水量は 532m³。
- 10/4 サブドレン他水処理施設について、一時貯水タンクCの当社および第三者機関による分析結果[採取日 9/23]については同等の値であり、運用目標値を満足していたことから、10/5 10:02 より海洋への排水を開始。その後、15:02 海洋への排水を停止。排水量は 727m³。
- 10/5 サブドレン他水処理施設について、一時貯水タンクDの当社および第三者機関による分析結果[採取日 9/25]については同等の値であり、運用目標値を満足していたことから、10/6 に海洋への排水を行う。
- 10/5 地下水ドレンからの地下水のくみ上げを開始。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム 137 の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

＜H4エリア周辺のサンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

＜H6エリア周辺のサンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

＜福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

＜地下水観測孔サンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

＜海水サンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

＜地下貯水槽サンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上